

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成25年8月21日 午後7時00分から午後9時05分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 第1会議室
- 4 出席者 飯田秀範委員、上野正司委員、大沢春樹委員、金子隆博委員、北沢賢二委員、清住洋子委員、国原敏男委員、児玉卓文委員、竹内明美委員、中嶋三津子委員、樋澤みどり委員、森美由樹委員、柳沢裕子委員  
【欠席委員】7名
- 5 市側出席者 渋沢地域自治センター長、児玉地域振興課長、犂山市民生活課長、北沢健康福祉課長、雨宮産業観光課長兼建設課長、児玉武石教育事務所長、佐藤地域政策係長
- 6 公開・非公開等の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成25年9月6日 作成部局課名 地域振興課地域政策係

## 協議事項等

- 1 開 会 (柳沢副会長)
- 2 あいさつ (上野会長)
- 皆さんこんばんは。先日の臨時会議では、番所ヶ原スキー場の災害復旧工事の件で、快く承認いただきました。武石の大事な観光施設なのでこれからも長く使えるようにやっていかれたらと思います。テレビ報道で中国の限界集落の問題を見ていました。生活水準が上がると若者が都市部に住むようになり、一人っ子政策のこともあり、地方の人口減少が著しいそうです。武石専門部会3部会ありますが、それぞれが武石のためになるような活動をしていきたいので、よろしくをお願いします。
- 3 報告事項
- ～臨時会議で承認があった基金の活用についてその後の経過と報告～  
(雨宮産業観光課長兼建設課長)
- 8月6日開催の臨時会議で、番所ヶ原スキー場の災害復旧工事に係る経費の財源措置で、工事費の一部に武石地域振興事業基金(持寄り基金)を活用したいと提案され、了承した。その後の経過について、9月の定例会議会へ補正予算の議案提案をする運びとなった。
- 【質疑・意見等】  
・なし
- 4 協議事項
- (1) 武石オフトーク通信代替えシステムについて
- 【地域情報伝達無線システムの説明】(児玉地域振興課課長)
- 【質疑・意見等】
- (会長) 皆さん質問、意見ございますか。  
たとえば、建設時には地域予算を使うとか、維持費は各戸から負担金をいただくのかとか、どうでしょう。
- (課長) 今考えているのは、建設費については市の予算、残りを地域予算にするという案。維持費については、財産区の資産を市を通して利用していく形。負担金については、各戸3,000円ほどを考えている。
- (委員) アンケートの問3で、新設費用2万～4万円、毎月の受信料2,000円ほどを個人負担と

した場合、加入しないと答えた人がたくさんいる。費用と維持費を別に考えたらどうだろうか。はっきりさせないとなんとも言えない。

(委員) 受信機の寿命はどのくらいか。

(係長) 無線放送機材・機器の耐用年数は6年と業者から聞いている。今、使用しているオフトーク機器は20数年経っている。無線の機械は複雑でないので、壊れにくいと思われる。

(委員) 機械だけでも買ってもらえたら楽だ。地域の情報はほしい。

(課長) 有線放送からオフトークまで57年間、地域の情報や災害、緊急放送が無くなると不便。現在、上田市で共通して発信しているのは、緊急速報などのメール配信サービスだけ。携帯電話に登録してある人には情報が届くが、携帯電話やパソコンを持っていない者にはそのような発信が届かない。ある程度、地域においては放送が必要だと考えている。

(委員) システムについては自治会・分館単位でお知らせできるようなので、地区行事が伝えやすくなり良いと思う。

(委員) 長和町では緊急放送を屋外スピーカーから放送している。外からの放送は対応できるのか。武石地域ではオフトークを契約していない家や、有ってもその時間に聞き逃す人もいる。畑仕事や、外にいるときはよく聞こえて便利だと思う。

(課長) 設置しようと思えばできる。外スピーカーは同報無線というが、不釣合いや騒音の苦情が多い。冬は締め切って聞こえない。武石地域ではあまりなじまない。

(委員) 私は長和町で仕事をしているが、2方向から聞こえたり時間差で聞こえたりして、良く聞き取れない。屋内で聞きなおして理解している。

(会長) 機器の負担金で、個人負担はどの位が良いか。維持費は別として、初期建設費は地域予算から出しても良いかと思うがいかがか。

(委員) 市とすれば個人負担は半分は出してもらいたいところ。市の負担、基金の負担、よく考えてもらいたい。

(委員) (アンケートにもあるように)50パーセントを超える個人負担ならば、年金のお年寄りや若者は加入しないのではないか。

(課長) 設置の際は負担をお願いしたいが、月々の維持費は財産区からの収入を充てたいと考えている。

(委員) 自治会ごとに18基地局設置というが、無線が届かない家もあるのではないだろうか。山、沢があると電波が飛ばないのではないか。

(課長) 簡単なアンテナを立て、線を引けば補える。調査費用もかかるので具体的にになったら電波状況など放送試験調査する。

(委員) 初期に加入した人の負担金と、後から加入した人の負担金は不公平にならないように、同じ金額になるように調整してほしい。

(委員) まず設置時に2万円負担いただくとして、月500円ずつにすると大きな出費に感じないと思うがどうだろうか。また、故障、修繕、再購入の負担も考えてほしい。

(委員) 設置後、すぐに都合で脱退した場合、機械は売れるのか、返却するのか、機械の所在をはっきりさせることも必要。

(委員) このシステムの加入率が悪かった場合、何パーセントならばこの代替え事業ができなくなるのか。

(課長) はっきりは分からないが、半数以上はと考える。

(センター長) オフトーク放送終了後、何もやらないというのではなく、代わる放送設備をこれから慎重に考えて行きたい。本庁との詰まる話(市全体計画)もこれからである。地域の皆さんから疑問点を出していただきたいので、周りの人の意見も聞いていただきたい。

(会長) 自治センター(市)もはっきりしたことが決まっていない状態で、現状での説明であったがご理解いただきたい。本日の資料をよくチェックして、次回ご意見をいただけたらと思う。

(2) 雲溪荘について

(会長) 今回、部会の報告と委員の皆さんの意見を伺いたいということで全体会議の時間を設けた。皆さんの率直な意見をお願いしたい。

【別添部会資料から説明】(柳沢副会長)

- ・ 8月7日の臨時部会資料 1
- ・ 住民説明会での市民の声・協議会委員のアンケート調査から 2
- ・ 雲溪荘部会からの報告および提案
- ・ プロジェクトメンバー募集原稿案「資料」 “岳の湯温泉『雲溪荘』を皆で考えるプロジェクト”、説明の骨子

プロジェクトの役割

お湯を活かした運用、アイデアにポイントを置いて具体的に考える

専門機関プロジェクトの位置付け

協議会がプロジェクトチームを募集する

広報、新聞、丸子テレビなどへお知らせ、取材依頼

【質疑・意見等】

(委員) プロジェクトメンバーには、ボランティアとして一般から募集し、地域協議委員会とは別のプロジェクトチームと位置づけたほうが良いと思う。

(委員) プロジェクトチームを作っても、協議会と同じ討論ではいけない。コンサルタントの先生を呼んで指導していただきたらと思う。その費用は必要。(指定管理期間終了の)3年後どうするのか。コンサルタントの先生にまとめていただくことも大事だと思う。

(委員) 3年後には別の誰かが協議委員になっても、大玉送りのように次につなげるだけではない。

(委員) 協議会もそうだが、地域振興事業団が仕事を受けて、これを考えていくのでは。

(委員) 事業団は指定管理、経営者になることはできない。事業団は管理だけ。

(委員) プロジェクトを立ち上げて、プロジェクトの方針で事業団は動くのか。

(委員) 数年後雲溪荘は廃きょになる。壊して更地にして、温泉を活かした夢を実現したい。

(事務局) 地域協議会の事務局として、この問題は話し合ってきたが、コンサルタントは大反対。地域協議会は地域の重要な意見について、地域の代表として集まっている。苦しくても結論を出して行くべきだと思う。

一番の問題は、雲溪荘は市の施設、所有している市はこれ以上の多額な税金投入は容易にできない。老朽化した建物で、現状維持は現実的に絶対無理と思う(委員の)皆さんも無理と分かっている。事務局の資料を見れば見るほど感じる。

地域協議会が市へ要望した存続を検討するためには、条件が必要。そこを地域協議会で考えて行けばよい。たとえばお湯は残す、宿泊、食事を止める。地域の皆さんのアンケートで、雲溪荘を止めますか、と聞かれれば、残せと言う。それは事情、現実を知らないからである。コンサルタント、違う人を入れたら、ますますとんでもない方向へ行ってしまう。

(委員) 率直なご意見ありがとうございます。(存続に向けて)何とか盛り立てようと思っている。

(委員) 今、雲溪荘は魅力がないといわれる。一人お風呂に入っても黒字にはならないが、経営努力は続けなければならないと思う。

これまでの協議会部会では、雲溪荘を残す4案が出ていた。

現状を維持

福祉施設にしたらどうか

更地にしてリニューアル

民間人の方へ託す

この案で、地域協議会で決定したことを基にプロジェクトチームが動き、位置付けを決めていきかけた。

(事務局) 温泉だけ残しても雲溪荘の存続になる。

(委員) 資料「雲溪荘を皆で考えるプロジェクト」は雲溪荘を残すプロジェクトなのか。それとも、どう盛り上げて行ったらよいかを検討するプロジェクトなのか。

(委員) 部会の中でも統一できていない。柔軟性をもって協議会の皆さんに問いかけたかった。

(委員) 地域協議会とは、市長の委嘱を受けているが、こんなに重要なことを話して良いのかという気持ちでいた。責任ある協議会の提案をしていかないといけない。

(委員) 市民感覚からすると、赤字になることが分かっていることに数千万、数億円の税金を使うのは、やめていただいた方が良いと思う。雲溪荘がなくなっても仕方ないと思う。地域の大多数の幸せのために税金を使うなら良いと思う。

(会長) では、次回も話し合いを持ちたいと思います。他2つの部会も全体会議の要望があれば時間をとって行きたいと思う。

(3) 専門部会(時間の都合で中止)

#### 4 その他

(1) 空き家の有効活用・新幹線の割引補助等利用で定住策について ~活発な地域づくり部会からの調査依頼事項~

【事務局から説明】

【質疑・意見等】

・なし

(2) その他

(委員) 太陽光発電システムの業者が当自治会内を調査しているが、農業振興地域への設置は可能か。

(事務局) 農地の転用が必要となる。

(3) 次回会議の日程等について

・協議の結果、9月26日(木)午後7時から9時までと決定した。

#### 5 閉会(柳沢副会長)